

横田で初の24時間POW/MIA追悼ランを実施(1) *Yokota holds first-ever 24-hour POW/MIA remembrance run*

October 2, 2023

By Airman 1st Class Samantha White
374th Airlift Wing Public Affairs

9月15日の「全米捕虜・行方不明者(POW/MIA)追悼の日」にあたり、チーム横田は戦争の捕虜・行方不明者となった8万千人以上のアメリカ人を偲び敬意を表すため、9月14日から15日にかけて初の24時間ランを実施した。

(写真1)9月15日、POW/MIAを追悼する24時間ランで、横田基地内のランニングトラックを走る第353特殊作戦航空機整備中隊の隊員たち。空軍軍曹協会が主催となり、24時間ランや式典などの追悼行事を行った。



1

(写真2)9月15日、POW/MIAを追悼する24時間ランで、ランニングトラックを走る第374憲兵中隊のセス・ホッチキナー等空兵(左)とセス・マルティネス上級空兵。2人は夜間に一度走った後、24時間ランの最後に再び走った。



2

(写真3)9月15日、POW/MIAを追悼する24時間ランで、日の出を見る走者たち。

戦争で捕虜や行方不明になった8万千人以上のアメリカ人を追悼し敬意を表するため、走者たちはアメリカ国旗と捕虜・行方不明者の旗を掲げながら、24時間のあいだリレー方式で走った。



3

横田で初の24時間POW/MIA追悼ランを実施(2) *Yokota holds first-ever 24-hour POW/MIA remembrance run*

October 2, 2023

By Airman 1st Class Samantha White
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)9月15日、POW/MIAを追悼する24時間ランで、隊列を組んで走る第353特殊作戦航空機整備中隊の隊員たち。

「全米捕虜・行方不明者追悼の日」は、戦争捕虜と、戦闘中に行方不明となったアメリカ人を追悼し敬意を表するため、ジミー・カーター大統領が宣言に署名し、1979年に制定された。



(写真5)9月15日の「全米捕虜・行方不明者追悼の日」に横田基地内のベース・エクスチェンジの施設に設置された「行方不明者のテーブル」。このテーブルは、捕虜・行方不明者のレガシーと犠牲を記憶するために展示された。



(写真6)9月15日、横田基地で営まれた「捕虜・行方不明者追悼式」で、折り畳んだ米国旗を持つ儀仗兵。式典では、POW/MIAの軍人による講話、国旗の折畳み式などが行われた。

